

平成 30 年 第 9 回 国家資格キャリアコンサルタント試験

(キャリア協) 実技試験 (論述) 解答例 (中里)

※今回の問題のキーワードは、「あきらめきれない」「もう自信がない」です。運転士に憧れ鉄道会社に入社したくて就職活動をしてきたがうまくいかない、鉄道会社への思いはあるが自信もなくなり、どうすればいいかわからなくなったと感じている CL の相談です。相談者のキャリアビジョンは明確であり、採用試験に向けて努力はしてきたものの上手くない…なぜだろう?と考えた時に、キャリア協のお得意の 2 側面から考えていくというあたりがキーになります。2 側面は「自己理解不足」と「仕事 (職務) 理解不足」でしたね。

【設問 1】 逐語の空欄 A で、キャリアコンサルタントとしてあなたなら CL1 の発言を受け、どのような応答をするか記述せよ。(10 点)

「これまで大手鉄道会社の採用試験を数社受けたが結果が出なくて、運転手になる夢はもう無理かなあと思うのですね。今までどのような経緯で鉄道会社に就職活動をしてこられたのですか。」(2 行)

【設問 2】 キャリアコンサルタントとして、あなたが考える相談者の「問題」を記述せよ。(10 点)

「将来的なキャリアビジョンは明確であるものの、運転士に憧れているというだけで自身の適性等について考慮せず、また、採用試験の失敗を省みることなく自己理解不足と思われる。また、「運転士に憧れる」から大手鉄道会社に入社しなければならないというように発想が固定的であり、選択肢の幅が狭く、職務に関する理解を広く深めることなく仕事理解不足である。」(4 行)

【設問 3】 この事例の展開に関し、以下の問いに答えよ。(30 点)

(1) Z さんに対しどのような提案を行うか。逐語の空欄 B に入る、あなたが考える語句を 2 つ記述せよ。

- ① 「ご自身の向き・不向きという職業適性」
- ② 「鉄道関連、またはその周辺職業の業務内容や職種」

(2) 設問 3 (1) で解答した 2 つのうちいずれかを選択して、キャリアコンサルタントとしてあなたはこの先、どのような働きかけを行うか、具体的に記述せよ。

① のケース

まずは、自身の夢に向かい努力してきたことを支持し、運転士という特殊な職業を含めて、改めて自身

の職業適性についてアセスメントを受けてみることを提案し、職業選択について再考するよう促す。また、工業高校、専門学校で学んできたことを振り返り、鉄道関連の仕事について運転士以外でも関心があるもの、得意なものがあるかを探ることで、仕事・職種幅を広げてみることを提案する。また、鉄道関連の仕事への就職について、専門学校のキャリアセンターや教員などに相談してみるよう促し、自身の適正に見合った職業に向って、また前向きに就職活動を進められるよう支援していく。（6行）

AG HUMAN SERVICE CO., LTD.